

成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 30 年度

市町村名	志木市			
提案事業名	地域の「しよく(食・職)場づくり」担い手育成による食育の推進事業			
事業期間	31 年度	～	31 年度	
事業の必要性、目的	<p>人生100年時代を見据え、誰もが健康で住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくりの方策として、地域を「食」で支える環境を整備し、市民のさらなる健康寿命の延伸をめざす。</p> <p>また、平成31年度から、第2期食育推進計画がスタートする。超高齢社会にあたり、今後の食育推進にあっては、地域で共食の機会を提供できる環境づくりが急務であり、今よりもさらに市民力を生かした「食」の担い手を育成していく必要がある。</p>			
成果指標	(成果を検証する指標) 「市民食育サポーター」を養成した人数			
	(成果検証の具体的な方法) 事業実施後に集計する。			
	(上記の指標を設定した理由) 本事業は、地域で共食の機会を提供できる環境をつくること、今よりもさらに市民力を生かした「食」の担い手を育成することを目的としていることから、達成度を図る指標として、「市民食育サポーターを養成した人数」が最も妥当な指標であると判断したため。			
	(成果の目標値)			
	現状値 (31年1月現在)	0人	目標値 (32年3月時点)	20人
	(施設建設等の場合)			
年間利用者数(目標)(人)		稼働率(目標)(%)		
住民への公表方法及び特記事項				

【成果指標と構成事業の関連性】

平成31年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費(千円)
① 地域の「しよく(食・職)場づくり」担い手育成による食育の推進事業	ソフト 行政の管理栄養士等と民間企業のコーディネーターや管理栄養士が連携し、市民力を生かした食育活動を推進する。具体的には地域における「食」の担い手となる人材の発掘と育成をめざした市民養成講座を開催するとともに、自立に向けた研究・支援を行う。	3,276
②	ハード ソフト 間接補	
③	ハード ソフト 間接補	
④	ハード ソフト 間接補	
⑤	ハード ソフト 間接補	
⑥	ハード ソフト 間接補	
合計		3,276

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	広報紙への掲載やリーフレット配布など全市的な情報発信と、民間企業など関係機関と連携を図りながら事業を効果的に実施していく。
成果指標の達成見込み	上記方策を着実に実施することにより、指標を達成することは可能と考える。

(記入上の注意)

【成果指標の設定】

・住民への公表方法は具体的に記述すること

【成果指標と構成事業の関連性】

・提案事業を構成する各事業(構成事業)について次のとおり分類すること

「ハード」 施設建設等が中心の事業(ハード事業)。

「ソフト」 主に人的要素を活用した活動でハード事業以外の事業(ソフト事業)。

「間接補」 青年会議所、商工会議所・商工会、自治会、NPO等の公共的団体が実施する事業に対して市町村が補助金を交付するもの(間接補助事業)。

・事業費は補助金を要望する単年度の事業費のみ記入すること。また、間接補助事業の場合には、事業費の下に()書きで、市町村の負担額又は補助額を記入すること。